

## R6前期 教職員アンケート



教職員のアンケートでは、教員だけでなく職員もアンケートに答えているため、「わからない」という回答も入っています。また、人数が少ないため、数人の差でもグラフの割合は大きく変わって出てきます。「6」「7」「11」の項目で「よくある」という回答が少なくなっており、教員が今まで意識していなかった項目は児童の回答も低めに出ていることから、後期は授業の中で別の意見を取り上げて多方面での見方を広げたり、体験とつなげて温暖化をふせぐような大きな課題について考えたりする活動も組み入れていければと思います。

R6前期 保護者アンケート

1	お子さんは、この半年間に学んだ知識や技能が身につく、普段の生活の中でも使う場面がある。(知識・技能)
2	家族内では言葉を選び、順序を考えて話したり、相手意識をもたせたりしている。お子さんに単語だけでなく、文や文章で話すようにさせている。(言語能力)
3	家族のことで、必要な情報が何かをお子さんと一緒に考えたり、調べたりする時間を持つようにしている。(情報収集能力)
4	言葉だけでなく、絵や図、写真などを使い、どうしたらよりよく伝わるかをお子さんに気づかせている。(表現力)
5	お子さんが自分の考えを言ったり、判断したりできるような時間をもつようにしている。(問題発見・解決能力、判断力)
6	ニュースなどや家族の話し合いを通して、新たな考えや別の見方もあることに気づかせている。(思考力・深い学び)
7	教室での学びと、外の出来事や体験とのつながりがわかるようにお子さんと関わっている。(体験とのつながり・深い学び)
8	予定や見通しを共有したり、お子さんの興味や関心を伸ばそうとしたりしている。(学びに向かう力)
9	お子さんが丈夫な体をつくれるよう、運動、食事、睡眠、生活リズム、感染防止など健康的な生活を心がけている。(健康)
10	家の防災グッズをお子さんと一緒に用意したり、通学路の危険箇所を考えたり、防災訓練への参加や家族の集合場所を決めたりするなど、お子さんが一人のときも自分の身を守るようにしている。(安全・自律)
11	家族のそれぞれの良さを活かして役割分担するなど、家族みんなで課題を解決したり、温暖化防止などSDGsなどに取り組んだりしている。(協働)
12	相手の気持ちや状況を想像して、お互いを思いやり、ふさわしい行動ができるようお子さんに伝えている。(共生・人間性)
13	ともに生きる家族や知り合い、近所の人などへのあいさつをし、誰に対しても公平に接する姿をお子さんに示している。(公平・平等)

